

# 平成30年度公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	白根北児童館		
管理者名	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ	指定期間	平成27年4月1日 ~ 平成32年3月31日
担当課	南区役所健康福祉課		
所在地	新潟市南区鷺ノ木新田5402番地		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市児童館条例		
施設概要	敷地面積 2,895.10㎡ 建築面積 330.0㎡ 延床面積 330.0㎡ 構成施設の内容 1階 集会室 (50.00㎡), 図書室 (30.00㎡), 事務室 (20.00㎡), 遊戯室 (140.00㎡), 静養室 (9.00㎡) トイレ (23.65㎡), その他 (57.35㎡)		

施設設置目的
<p>旧白根市北部地域における地域児童の健全育成支援や育児不安に陥りがちな母親支援を目的として、子どもが自由に遊べる屋内遊戯の場と子育て支援を行う場併せ持つ施設として児童館を設置する。</p>
管理・運営に関する基本理念、方針等
<p><b>運営理念</b> 子ども、親、地域住民が主体的に運営に参加し、地域子育て支援の拠点、地域コミュニティの核となる児童館を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者、家族、地域住民が運営や活動に主体的に参加することを重視します。</li> <li>・納得できるまでの話し合いを重視し、情報の共有を進めます。</li> <li>・ハンディのある人、他世代の人たちがともにある場の創造を目指します。</li> <li>・個別性を大切にし、新しいニーズに応える、柔軟で応答性の高い運営を目指します。</li> <li>・職員の主体的な働き方と、実践を通じた学習、事例検討、記録を重視する。</li> </ul> <p><b>基本方針</b></p> <p>① 子どもたちの成長への貢献 地域での人と人とのつながりが希薄になっているなかで、児童館には異年齢の子どもたちが、互いに教えたり教えられたりしながら、遊びあう姿があります。 児童館におけるあそびや活動を通じて子どもたちの成長に何よりも価値を置き、その取り組みを地域に広げます。そのためにも、子どもが自ら運営に参加し、主人公となり、育ちあう場を目指します。</p> <p>② 親の支援への貢献 家庭での子育ての不安、孤独、孤立を解消し、地域の中で親どうしの交流の場や学びの場、支えあいの場をたくさん創り出します。また、働く親の多様なニーズに応じて、仕事と子育ての両立を応援します。</p> <p>③ 地域の再生とまちづくりへの貢献 子どもたちの成長を地域で見守り、さまざまな世代の人たちの関わりのなかで子育てを応援していく「地域のひととの関係の再生」が根本的なテーマであると考えます。 児童館のさまざまな行事や講座などを通して、子育て支援に関心のある地域の方との出会いを広げます。そして、子ども・親・高齢者の三世交代交流や、子育てをコミュニティで支えあう活動への地域の方たちの参加を広げます。また、近隣の地域で活動しているさまざまな団体・グループと協力しあい、子どもの安全や地域で見守るネットワークを築いていきます。そして、子育てしやすいまちづくりを地域のみなさんと一緒に進めます。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	広報の充実	行事日より、ホームページ等による児童センター活動に関する情報発信 2回以上/月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、区報「みなみ風」にメイン行事を掲載。</li> <li>・月1回、児童館だよりを発行し、館内にはポスターを掲示。</li> <li>・大きな行事の際には、チラシを作成し、配布を行って周知している。</li> <li>・ホームページの更新を随時行っている。</li> </ul>	B	児童館だより、南区役所だより、ホームページを活用し積極的に幅広く広報活動を行っていると認められます。
	基準利用者数の達成	来館者数(年)(基準:50人×358日) 17,000人/年 以上	平成30年度の年間来館者数18,748人。 1日平均52.4人。	A	昨年度に引き続き、来館者数が増加し、指標も上回っています。
	利用者の満足度	利用者アンケートの実施 2回以上/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年10回実施。</li> <li>(春まつり、ひな祭り会、クリスマス会、夏祭り等)</li> <li>・その他、随時利用者へ直接聞き取りを行っている。</li> </ul>	A	イベント開催時にアンケートを実施し、利用者ニーズの把握に努めています。各イベントにおける満足度はいずれも高水準です。
	苦情・要望に対する対応	原則1週間以内の回答 苦情・要望の対応マニュアルの整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度、苦情はなし。</li> <li>・苦情・要望マニュアルはワーカースコープとして整備されている。</li> </ul>	B	マニュアルが整備され、職員間での意識も徹底されています。
	事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児向け、小中高向け事業の実施数 4回以上/月</li> <li>・地域・関係機関との連携事業実施数 2回以上/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児イベント:いちごタイム(作って遊ぼう、農園での活動も含む)/毎週1回、絵本の読み聞かせ/月1回、はじめましての会・運動会・緑日ごっこ/年1回</li> <li>・乳幼児の保護者向けイベント:ホットほっとタイム/月1回、ママのためのハッピータイム/年5回実施</li> <li>・小学生イベント:わくわくタイム/毎週1回、作って遊ぼう/月1回、わくわくスペシャル(はじめましての会)/年1回</li> <li>・中高生イベント:チャレンジポーツ月間/年3回、夕涼み週間/年1回、ハロウィン週間/年1回</li> <li>・その他:季節のイベント(七夕・夏祭り・ハロウィン・クリスマス・お正月遊び・豆まき・ひなまつり・春祭り)</li> <li>・地域、関係機関との連携事業:助産師、保健師による子育て支援講座(ベビーマッサージ等)を年2回実施。子育てオーエンジャー☆みなみと共催で「にゃんこの手」を年3回開催。地域のボランティアによるコマ作り教室や運動教室等を年9回実施。その他、コミュ協主催の祭りや学校の文化祭への参加、保育園等への移動児童館を実施。</li> </ul>	A	趣向を凝らして魅力ある様々な事業展開に努めており、地域・関係機関とも密接に連携し、内容が充実しています。
財 務	業務の効率化	施設利用者1人当たり運営経費 1,250円以下	平成30年度指定管理料は年間19,416千円。 19,416,000÷18,748=1,035.630 一人あたり1036円程度になっている。	B	経費の削減に努めています。

業 務	設置目的の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域運営委員会の実施数 2回以上/年</li> <li>・業務仕様書に定める事項の遵守 違反回数0回</li> <li>・建築設備の保守管理 協定書に定める回数以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域運営協議会を7月と2月に開催。</li> <li>・業務仕様書に定める事項の違反はなし。</li> <li>・協定書に定められている建築設備の保守管理は規定回数に達している。</li> </ul>	B	地域運営協議会を目標回数実施し、委員に積極的に意見を求め、事業運営に活かしていると認められます。また、定められた設備の保守管理を順守し、適正な管理に努めています。
	情報の伝達と共有	苦情・事故発生時の早期報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情報告はなし。</li> <li>・事故発生時、職員と連携をとり、速やかに応急処置、保護者への連絡、報告書の作成および関係機関への提出を行っている。</li> </ul>	B	苦情・事故発生時の早期対応や関係機関との情報共有に努めています。
	安全安心の確保	防災訓練実施回数年2回以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災を想定した避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施。(2回)</li> <li>・不審者対策のため、警察署の方による講話と訓練を実施。(1回)定期的の不審者対応についての話し合いを職員間で行っている。</li> <li>・地震を想定した避難訓練を実施。(1回)小学生向けに防災グッズ作りの提供や防災食の試食会を実施。</li> </ul>	A	目的に応じた訓練を目標回数以上実施しており、危機管理意識の向上に努めています。
	コンプライアンスの確立	児童福祉法、新潟市児童館条例の遵守、個人情報等の守秘義務マニュアルの整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報情報はパソコンや外部記録媒体に記録せず保管。保管場所には施錠を行う。</li> </ul>	B	個人情報の漏えい防止の取り組みを徹底しています。
	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他業務仕様書に定める事項は遵守している。</li> </ul>	B	施設運営にワークスコープ本部も積極的に指導等で関与し、常に仕様書に定める事項の遵守に努めていると認められます。
人 材	配置人員条件の水準維持・育成の適切性	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務仕様書に定める人員配置</li> <li>配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度 年2回以上の研修参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務仕様書に定める有資格者6人体制をとり、業務を行っている。</li> <li>・新潟市が行っている研修・連絡会に参加。カブラ研修会や児童厚生員研修、ネットトラブル研修、子どもの人権についての研修、児童館ガイドラインについて等の研修に参加して職員のスキルの向上に努めている。</li> <li>・一人年に2回以上研修に参加している。</li> </ul>	B	人員を適正に配置していると認められます。様々な研修会に参加し、人材育成にも努めています。

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

### 指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

・平成30年度は、利用者・地域を軸に置いた運営を行ってきました。乳幼児の季節イベントや保護者向けイベント「ママのためのハッピータイム」では、事前に来館されている親子へ聞き取りを行い、要望に合わせた内容を提供したことで開催後のアンケートでは好評の意見をいただくことができました。また、夏祭りでは、小学生ボランティアを募り準備から当日の運営まで携わってもらいました。週に1回実施している「わくわくタイム」でも、職員が内容を考えて提供する従来のやり方から子ども達主体で内容を話し合い、実施するという新しい方法を取り入れました。今後も利用者を中心に捉えた運営を目指していきます。地域との連携では、利用する小学生の祖父によるコマ作り教室や地元のサッカースクールの監督による運動教室等を開催しました。秋にはコミュ協主催の祭りや北部地域の小学校文化祭等に参加し、繋がりを深めてきました。また、小学校やコミュ協とは定期的に情報交換会を行い、地域全体で子ども達を見守る体制を強化してきました。

・農園での活動では、今年度から利用者の一部の区画を貸し出す「フリーゾーン」を設置しました。3組の親子がミニトマトやきゅうりなどを育てて収穫まで行いました。子どもたちの中でも、興味を持って水やりや様子を見に行き、土との触れ合いを楽しんでいました。来年度以降も、利用者と共に農園の活動を広げていきたいと思ひます。

・災害や不審者に備えて、職員同士で話し合いや対応方法についての確認を定期的に行いました。不審者訓練では、利用者も含めて警察署の方から指導していただき、実際の訓練を実施しました。誘導方法や声掛け等細かい部分まで学ぶことができました。今後ますます不審者対策について考えていかなければいけない時代になるので、訓練の回数を増やしていきたいと思ひます。

### 所管課による総合評価(所見)

施設の設置目的及び管理運営に関する基本理念・方針等を常に意識し、その他業務仕様書等に定める事項の遵守も徹底していると認められます。

アンケート調査だけではなく利用者と普段の関わりを持ち、話を聴く事によりニーズを聞き出し、趣向を凝らした魅力ある様々な事業展開となっています。一人一人に寄り添い、関わる事で居心地の良い児童館として地域に受け入れられています。これらの結果が来館者の増加にも表れていると認められます。

施設管理についても施設の維持管理に努めるとともにコスト削減の意識も高いと認められます。

今後も引き続き地域と密接に連携し、魅力ある児童館運営が期待されており、指定管理者として良好であると認められます。